

諮問

◇諮問第1号
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

高橋 秀樹 氏
滝沢 周一 氏
水野 敏子 氏
江尻ふさ子 氏
《適任と認める》

請願審査 意見書

◇請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願

《趣旨採択》

◇請願第2号

30人規模学級の早期実現、複式学級編成基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

《趣旨採択》

◇請願第3号

長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教

職員配置増を求める意見書提出に関する請願

《採 択》

請願者
飯山市教職員組合
代表者 藤田 茂樹

◇請願第4号

福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する国あて意見書の採択を求める請願

《趣旨採択》

請願者

北信地区労働組合会議
議長 下田 由人

◇意見書第1号

長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消を求める意見書

《可 決》

◇意見書第2号

東日本大震災及び福島原子力発電所の事故に関する意見書

《趣旨採択》

※意見書については、関係機関へ送付しました。

叙勲伝達

飯山市議会第20代議長（昭和59年12月10日～昭和61年12月11日）の清水重右工門氏が、このたび88歳の高齢者叙勲を受け、平成23年6月1日に旭日双光章を受賞されました。
7月25日に歴代議長会の場において、久保田議長から伝達が行われました。

管外視察報告

先ごろ行なった各常任委員会の管外視察について報告します。

総務文教 常任委員会

委員長 西條 豊致

平成23年5月10日～12日

沖縄県糸満市・那覇市

当委員会では平和学習とし、今国会でも問題になってくる米軍の基地の現地を視察し、沖縄県基地対策課から米軍基地について、その実態と返還問題について学習した。

2日目は台風1号の大雨の中、ひめゆり平和記念資料館の視察を行いました。

この資料館は、戦争・教育・生命そして人間について考えさせる施設であり、多くの修学旅行生が訪れていました。各自、塔に供える花束を買い、献花し、資料館に入りました。沖縄師範学校女子部と県立第一高等女学校の女子学生が、一九四五年三月、沖縄陸軍病院に配属され、ひめゆり部隊と呼ばれ、勤労奉仕という形で看護・死体埋葬などの作業を手伝う中、4月1日アメリカ軍が本島に上陸、5月には南部にも戦線がせまり、日本軍とともに陸軍病院を出、6月突然の解散命令で戦場の真只中に放置されました。動員された教師・生徒240人中136人が亡くなる事実を後世に伝えるため、平和を訴え続けるよう作られた資料館であり、ひめゆりの塔のそばに建設されました。見学後思う事は、教育の大切さという事であり、戦争を知らない多くの世代に戦争とはどの様なものかを、平和の大切さを後世に伝え、考えさせる施設であり続けて欲しいと思いました。最後は摩文仁の丘に行き、慰

産業建設 常任委員会

委員長 水野 晴光

平成23年5月17日～19日

佐賀県鳥栖市・福岡県筑後市・柳川市

◎佐賀県鳥栖市

「新幹線駅周辺整備と広域観光について」

鳥栖市は佐賀県北東部、福岡県境に位置し人口68,600人。九州新幹線は、3月12日に新八代駅から博多駅まで開業し、博多～鹿児島まで全線で営業運転を開始した。
新幹線新鳥栖駅は、九州縦貫・



沖縄県庁

安全保障条約に基づく提供施設として引継がれ、県民は過重な基地負担を背負う事となった。
米軍基地は施設数34、面積2323・9ヘクタールで、沖縄の総面積の約10・2%を占める。米軍軍属家族は合計44,895人である。また、日本全国の米軍施設面積の約74%を占め、沖縄では国有地以外が66%である。また、軍別軍人数は海兵隊が61%であり、沖縄での犯罪でも海兵隊によるものが多く、海兵隊の海外移設を望む声が大きいとも聞いています。また、日米地位協定により、米軍や軍人の権利義務が米軍有利となっている様に思われます。そして制定後50年間1度も改正がなされていないのが現状です。

県経済への影響は、米軍基地関係収入の推移を見ると県民総所得に占める割合も、昭和47年15・5%であったものが平成20年では5・3%となっている。
嘉手納基地を高台から見ると、4000m級の2本の滑走路を有し、極東における米軍の最重要基地となっているのを目前に驚きました。

次に糸満市の「がじゅまる児童センター」を視察し、児童福祉を推進する拠点施設としてのセンターについて学習しました。
広い公園の一角に併設し、気軽に立ち寄れる館としての児童館で、営業時間は午前10時から午後6時である。学校と住宅地の近くで公園には大きな遊具もあり、子供達が外でも元気に遊ぶ事が出来る。2階では高校生がダンスの練習等にも使用できる様になっており、バンド等の機材も完備されていました。学校に行けない子供達も通って来ているようでした。参加者の多い活動としては、地域の人達と児童館利用者が交流する「まあら祭」や「おぼけやしき」、「新春もちつき大会」等、地域の人達との交流会が活発に行われているようでした。



第20代議長清水重右工門氏（写真中央）